

## 背景など

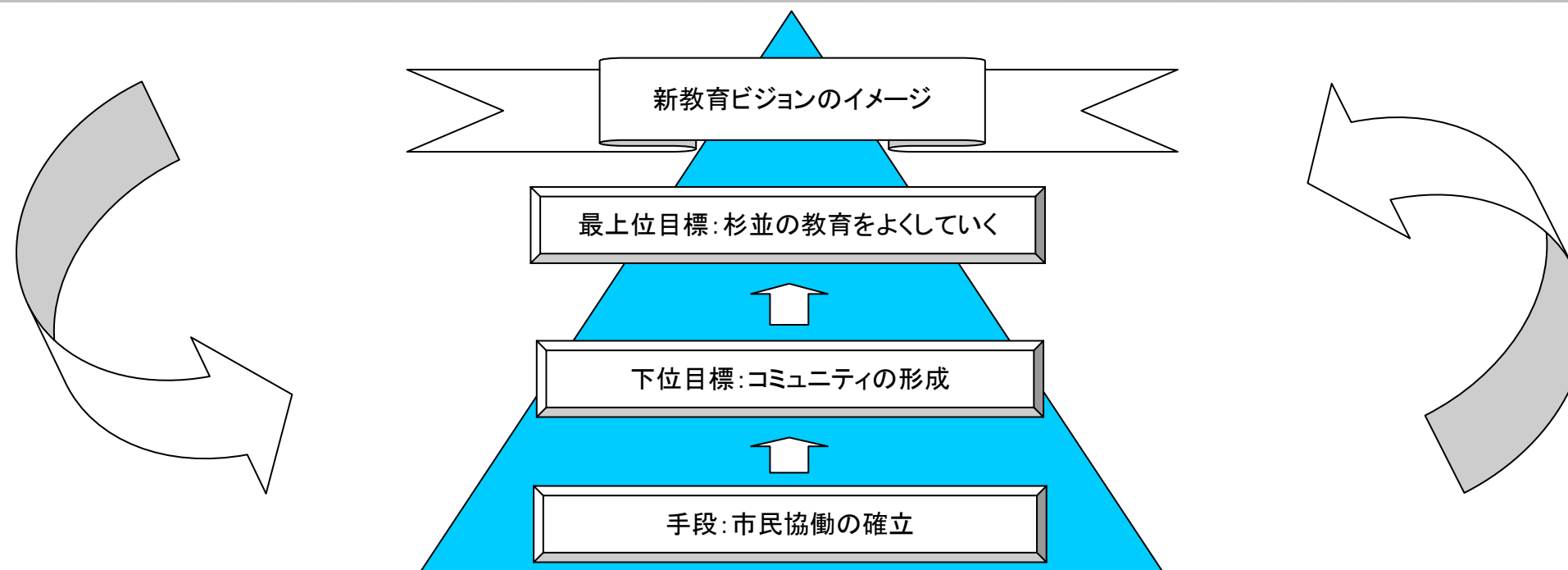
- 大震災が呼び起こしたコミュニティ感覚、支え合いと絆、協働や公共心への関心の高まり
- 経済が低成長の中でどのように新たな発展の原資を見出していくか
- 質の高い住宅都市「杉並」を支えるために、杉並の教育はどうあるべきか

- これまでの成果を踏まえてもう一段高みに上げ、より豊かな教育を生み出していくための10年間に
- 教育の基盤である足元のコミュニティがしっかりしなければ、子どもたちを受取る学校の営みもうまくいかない
- 公立学校がしっかりしなければ、日本の社会はしっかりしない

## 策定のポイント

- ビジョンの書き方  
わかりやすく、共感を得られるような心に届くもの
- ビジョンの視点  
これまでの施策を点から線へ、線から面へ(いい施策は継続する)  
新しい施策だけでなく、基本の部分(教師の力量形成、質の高い教育、学校の経営力)を  
しっかり踏まえる  
杉並の強み(地域とのつながりの強さ)を生かす
- 策定手法等  
現場の意見やこれまでの検証を反映させる

- ビジョンの対象  
就学前、就学期、就学後全てを対象にする(高校・大学を含めて、全ての人を対象にする)
- ビジョンの柱  
みんなが共通理解していくべきもの(目指す人間像)がビジョンの柱となる  
教育の目指す方向性を提示する
- ビジョンの考え方  
最上位の目標:杉並の教育をよくしていくこと、下位目標:コミュニティの形成、その手段:市民協働の  
確立



## 現行ビジョンの評価と課題

- 力のある教師を育てます  
職層や専門性を高める研修等の充実、校内におけるOJT等を組織的に推進していくための校内組織のあり方
- 質の高い教育を行います  
発達障害児を含めての就学前から高校卒業までの継続した支援体制の構築や保健福祉・医療分野等との連携  
小中一貫教育、特別支援教育、学校図書館、中学生の学びの機会の充実
- 学校の経営力を高めます  
スクールソーシャルワーカーの配置拡充、教育SATと関係部署との連携強化、副校長二人制の基本モデルの作成

- 地域と協働する学校をつくります  
地域運営学校の拡充と学校支援本部との連携、両仕組みについて、生涯学習と連動させた地域人材の発掘・育成
- 学校の教育環境を整えます  
地域活用が図れるような施設づくり、エコスクールのあり方、新しい学校づくり・まちづくりの視点での学校適正配置
- 共に育つ豊かな地域づくりを進めます  
社会教育施設における関係機関との連携強化、協働による事業連携・ネットワーク構築による地域に適した人づくり・仲間づくり・地域づくりの推進

## その他現状の課題など

- 統計数値や現状からの課題・将来予測  
児童・生徒数、公立学校への就学率、特別支援学校・学級在籍者数の増加、学力・体力  
団塊の世代の大量退職による新規教員の増加など
- 教育との接点  
多くの人が関心を持っているにもかかわらず、特定の人しか携われないハードルの高いものになっている

- これまでの杉並の教育の特性・強み  
学校支援本部の全校設置や地域運営学校の拡充などによる地域とのつながりの強さ  
その他各種の先進的な施策、特色ある教育活動の水平展開(点から線へ、線から面へ)

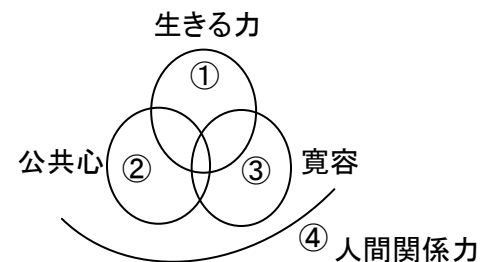
# 新教育ビジョンのイメージ（案）

## 教育の方向性

- 「教える」から「学ぶ」へ
- 「競争」から「共創」へ
- 教え育む「教育」から共に育む「共育」へ
- 響きあいで育くむ「響育」へ
- 知の連携、知の連続、循環、継承、還元
- いいまちはいい学校をつくる

## 育てたい人間像

- ①自立と自律、生きる力、生命力、生活力、夢見る力、体力(体の力)
- ②貢献する喜び、地域力となる存在、地域・集団の中で自分が何をできるか考える  
市民性・社会性、自己有用感
- ③多文化や他世代と融和できる能力、グローバルな交流力、広い視野、豊かな発想力
- ④コミュニケーション力、出会い、やりとり、言葉、人とのかかわり



## コミュニティ

- 共生社会、共に育ち、共に学び、共に生きるまち
- 学校教育に限らず、就学前も、学校を出た後の社会教育・生涯学習においても、皆が育っていくまち
- 家庭、地域、学校が、それぞれ責任を担い、協働・共創で学びと成長を支えあうまち
- 持続可能なエネルギーとして、地域の人材を育成・供給し、人々の知恵をつないでいくまち

## 行政

- ①世代や公立・私立の枠を超えた一貫・連携教育
- ②すべての人に対する地域ぐるみのキャリア教育(生き方教育)
- ③生きる力を育む教員の力量形成
- ④新たな公共空間としての学校(教育施設)



- ①小中学びの連続、一貫した教育で子どもを育てる、就学前教育・小学校教育のつながり(学びの連続性)、学校間連携による多様な学びの場確保、高校・大学との接続、杉並だからできる私学との学びあい
  - ②キャリア教育からキャリア発達支援へ、地域ぐるみのキャリア教育、幼(保)・小・中・高・大を貫くキャリア教育、障害児のキャリア教育、企業と学校のつながり
  - ③核になる教員の養成、基礎・基本の定着、単純な杉並メソッド開発、教員にもキャリア教育を
  - ④現場の意見が吸い上げられやすい環境、生涯にわたっての教育環境整備、学校の特色ある教育活動が地域の特性とマッチしている
- 地域を掘り起こし、掘り起こす地域が学校をよくしていくという、循環の関係性  
地域や住民や保護者が教育(学校)をサポートする方向性と、教育(行政)や学校が地域コミュニティに発信していく方向性の融合

## 区民、保護者、町会・自治会、ボランティア、NPO、企業など

- 市民活動と制度的ボランティアの融合
- 市民協働によるコミュニティづくり



- ①異なる世代・立場・職種と接する、育った人材が戻ってくる、高校生・大学生との接点
- ②地域力、まわりの顔が見える地域、お互いさま、地域の中の連携、子どもの安全を守る地域、興味がない人も巻き込む魅力的な地域
- ③学校任せにしない親の教育力・当事者意識、先生を助ける存在、学校現場に地域力を、地域で支える学校づくり、学校に地域の風をとおす、
- ④切れ目のない支援、若い親の不安解消、共働きの親にやさしい、放課後の居場所  
杉並の子を杉並で育てる
- ⑤インクルーシブな地域・学びの場、多様性を受け入れる、支援する・されるがあたりまえになる

パートナーシップ  
協働

杉並の教育をよくする

コミュニティの形成

市民協働の確立